

情報連絡員報告総括表（令和5年8月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況						
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化				
製 造 業	食料品	1	3			4		1	3		1	3		1	3			4		1	3		1	3		1	3		1	3		
	繊維工業		2	1		3		2	1			3			3			2	1		3			2	1		1	2		1	2	
	木材・木製品			1		1				1			1			1		1				1		1				1			1	
	紙・紙加工品		1	1		1	1		1	1		1	1		1	1		2				2		2				2			2	
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1				1		1		
	化学・ゴム																															
	窯業・土石製品	1	1	1		3		1	2			3			2	1		3			3			3			3			2	1	
	鉄鋼・金属		1			1			1			1			1			1			1			1			1			1		
	一般機器		2	1	1	1	1	3				3			2	1		3			2	1		3			3			3		
	電気機器			1			1			1		1				1			1			1		1				1			1	
	輸送機器	1				1		1			1			1				1				1			1			1			1	
その他																																
	小計	3	11	6	1	16	3	8	9	3	2	16	2	2	13	5		18	2	1	13	6	1	17	2	1	11	8				
非 製 造 業	卸売業		2			2		1	1			2			1	1		2		X					2			1	1			
	小売業	2	2	2		4	2	5	1			3	3		3	3		3	3			6			3	3						
	商店街	1			1			1				1		1				1				1			1			1				
	サービス業		3	1	X	X	X		4			4			3	1		3	1			4			4			3	1			
	建設業	1	3						1	3		1	3		1	3		1	3				4			4			1	3		
	運輸業	1										1			1				1			1			1			1			1	
	その他		1	1								2			2			2				2			2			2			2	
	小計	5	11	4	1	6	2	8	12		1	16	3	2	12	6	1	15	4		20			2	13	5						
	合計	8	22	10	2	22	5	16	21	3	3	32	5	4	25	11	1	33	6	1	13	6	1	37	2	3	24	13				

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和4年8月～令和5年8月)

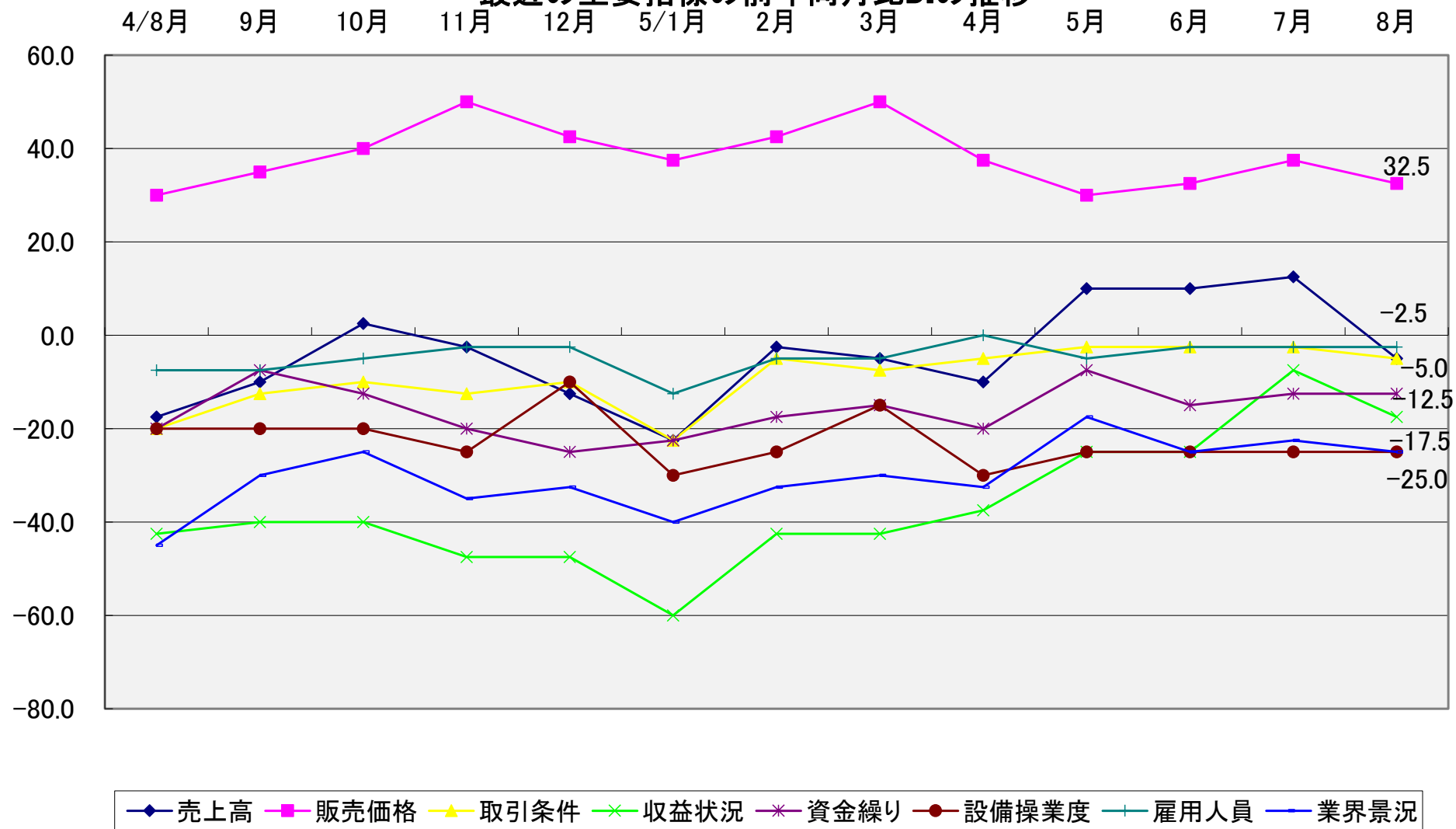
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	4/8月	9月	10月	11月	12月	5/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-17.5	-10.0	2.5	-2.5	-12.5	-22.5	-2.5	-5.0	-10.0	10.0	10.0	12.5	-5.0	-17.5
販売価格	30.0	35.0	40.0	50.0	42.5	37.5	42.5	50.0	37.5	30.0	32.5	37.5	32.5	-5.0
取引条件	-20.0	-12.5	-10.0	-12.5	-10.0	-22.5	-5.0	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5
収益状況	-42.5	-40.0	-40.0	-47.5	-47.5	-60.0	-42.5	-42.5	-37.5	-25.0	-25.0	-7.5	-17.5	-10.0
資金繰り	-20.0	-7.5	-12.5	-20.0	-25.0	-22.5	-17.5	-15.0	-20.0	-7.5	-15.0	-12.5	-12.5	0.0
設備操業度	-20.0	-20.0	-20.0	-25.0	-10.0	-30.0	-25.0	-15.0	-30.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0
雇用人員	-7.5	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-12.5	-5.0	-5.0	0.0	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	0.0
業界景況	-45.0	-30.0	-25.0	-35.0	-32.5	-40.0	-32.5	-30.0	-32.5	-17.5	-25.0	-22.5	-25.0	-2.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いている。また販売状況においても、新型コロナウイルス感染症規制の緩和や旅行者の増加等により、お土産物の需要がかなり回復してきており、コロナ前の状況に戻ってきている。一方で、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、製造コストに影響が出ており、特に電気代が約50%値上がりしているが、その分を価格に上乗せする訳にもいかず、経営を圧迫している。 また、9月中に鈴鹿市で中央会主催のインボイス制度の講習会を開催予定で、オンラインでも参加が可能である。更に組合員の情報交換会を9月中にオンラインで予定している。
	醤油味噌	猛暑の影響で醤油の発酵が進み、品質に影響が出ないかが心配である。8月上旬は、お盆休み前の生産で忙しかった。台風7号がお盆休みに来たため、観光地は少なからず影響を受けた。組合員1社が8月で生産を終了し、今後は小売販売のみになるため、PB、OEMの受託先を他の組合員に引き継いだ。ロシア・ウクライナ問題で穀物流通は一層深刻になってきている。小麦やコーンの相場が上がり、油脂も高くなってきている。インドが自国防衛のため穀物輸出を禁止する動きである。そのため、他国の穀物の相場が上昇している。
	他に分類されない食料品 製造業	学校給食は夏休みとともに休みになる。1ヶ月以上パート従業員も休みである。子供と過ごす時間が持てて良いと思う人もいれば、仕事をしたい人もいる。その条件を納得して就職してくれているが、何か良い方法はないかと考える。今は、掃除と機械のメンテナンスをしている。 今年の夏は暑くて今も食中毒警報が発令されている。心して食の安全性に気を配りたいと思う。
	製麺	毎年暑い日が続いているため、冷たい商品は売れている。本来、夏の時期は温ラーメンは売れているが、今年は温かい商品は苦戦している。北海道下川町のイベントに参加してきた。今回のイベントでうどんまつりの20回目を迎え、大勢の方々に伊勢うどんを食べていただいた。
繊維工業	衣料縫製	あらゆる物等の値上げにより、経営が厳しくなっている。
木材・木製品	木材	木材価格はウッドショック、ウクライナショック以前の価格に戻りつつある。依然として、需要の低迷、燃料費、輸送費の高騰が経営に影響している。
紙・紙加工品	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため、原料確保が課題である。
	古紙	8月の仕入量：段ボール・約96±3%、新聞、チラシ・約87±4%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約93±4%である。一雨ごとに早朝の清々しさは増すものの、日中の残暑と夜間の熱帯夜はまだまだ厳しいこの頃である。夏休みが終わり旅行等の消費行動はあったようであるが、紙製品の消費までは至っていないようである。昇給はあったとの事であるが、実質賃金の増加になっていない大多数の県民が電気代、燃料等の生活費が上昇して、日常の食費やおこづかい等が減っているように思う。製紙会社の生産は、国内消費も海外消費も激減のため、メーカーの古紙在庫は現在も一杯で発注量もマイナス約10%位で変わらない。運賃の値上げもしていただいたが、市況等により段ボール古紙の値下げや発注量減により、多数の組合員は大きなマイナス経営となっているようである。さらに10月以降に最低賃金が40円以上上昇することも大きな負担である。ゴミ等の置き去りや古紙の持ち去りの行為の発生も有り古紙持ち去り行為の撲滅のための立法化も時間が掛かりそうである。より人に優しいきれいな社会づくりの前に集荷も減り発注も減少し人件費は上昇するトリプルパンチでお先真っ暗である。
印刷	印刷	8月期において、前月期と変わらず、低調な動きとなっている。そのような中、依然燃料費（ガソリン）の高騰が収まらず、なかなか転嫁しづらい自社配送費が利益を減らす要因にもなっている。また、夏場の閑散期において、行政機関等にこれまで参加していなかった事業者が参入していたり、極端な低価格で落札している事業者もみられた。
窯業・土石製品	伊賀焼	各組合員は業況が少しずつ上向いているのか、忙しくし始めた。まだまだインボイス制度の対応について、不安のある組合員もいる。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、前月と比べあまり変わらず伸び悩んでいる。電力料は落ち着いてきたものの、受注は秋口または年内までは横ばいと思われる。
一般機器	四日市市	各企業により考えの温度差があるが需要、業績は停滞気味である。これまでの半導体不足や紛争の影響の他に急激な円安、人件費、輸送費の上昇も響いている。販売価格が上昇できても経費の転嫁のみで人件費上昇分を反映させるのが難しいことと、給与UPでも人が集められない影響もみられる。コロナ規制解除や半導体の需給緩和が工業製品の需要増、設備投資につながっていくことを期待したいが、現時点で状況は変わっていない模様である。
	津市	材料価格の高騰による値上げはあるが、昨年に比べて売上金額が少ないということは、昨年より受注が落ちていると言える。ただし、忙しい事業者と暇な事業者との偏りが目立ってきた。また、ガソリン、軽油等の燃料費は先月よりさらに上がったため、収益は厳しくなっている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	一般機器	伊勢市	製造業の関係は、全体的に悪い。自動車関連が先月に続き悪く、工作機械関連も低調に推移している。半導体も不足が解消した後、需要の回復は遅れている。悪い感じは続いているし、まだこの状態は続くと思われる。
	電気機器	鳥羽市	半導体関連が非常に落ち込み、全体受注が昨年比率より40%ダウンしている。しばらく、この状態が続くそうである。
非 製 造 業		青果	野菜前半：愛知県産のナスがお買い得である。また、北海道産のミニトマト、岐阜県産のトマトも順調に入荷し、安くなっている。じゃがいも、さつまいもがお買い得になっている。長野県産のキャベツは日照りの影響で入荷が少なく、高値になっている。 野菜後半：高温や干ばつが産地に大きく影響し、果菜類を中心にトマト、ミニトマト、きゅうり、ナスの入荷が少なく高値となった。 果物前半：お盆の供物や土産用としての引き合いが強く、静岡県産、愛知県産のアルスメロン、愛知県産のハウスみかん、長野県産の桃、地場産の幸水梨等が高値で推移している。イチジクは入荷が増え、安くなってきた。 果物後半：お盆が過ぎて多くの品目の価格が落ち着いてきた。長野県産、山梨県産のシャインマスカットは出荷がピークになり買いやすくなった。地場産の梨も美味しい、いろいろな種類が増えお買い得になってきた。
		自転車	中国製品（自転車国内販売の90%以上は中国製）の販売を含む海外景気の下振れが我が国経済を下押しするリスクを感じる等、高騰するガソリン価格や自転車のタイヤのみならず、あらゆる部品がかつてない程の値上げとなっている。学生の夏休み、企業の長期お盆休み、猛暑が続く中、ほとんどの店が休業状態となっている。8月上旬には中部自転車ブロック会（中部7県）が三重県にて開催された。各県、春から「リンリン感謝祭」等の様々な催しを聞くも売上は伸びず、各県平均昨年比-35.4%の数字を示す結果となり、景気の悪さを感じさせられた。この度、TSマーク付帯保険のインボイス対応にて、消費税等の会計処理方法を問い合わせる声が多くあった。
		電器	今年の猛暑の影響でエアコンの販売台数は昨年と比較すると増加している。工事や修理に日数がかかってしまう状況で、今年は熱中症など特に気にしながら対応するのが大変であった。お盆を過ぎてから販売は少し落ち着いたようにも思うが、例年よりも暑さが長続きしているため今後の販売状況が気になるところである。
		石油	燃料油価格激変緩和対策が2022年1月27日からガソリン価格の全国平均は1Lあたり170円以上となった時に、政府が価格抑制のために1Lあたり5円を上限に石油元売等に補助することから始まった。その後、補助の延長や拡充を経て9月末には補助金をゼロにする予定だったが、ガソリン価格がさらに高騰し、レギュラーガソリンは過去最高値を記録した2008年8月の185.1円が目前に迫る水準となっている。政府・与党は、9月末で補助金を0としていたがガソリン価格高騰に対する激変緩和措置について、9月から補助を拡充し、当面の想定小売価格を1Lあたり180円未満に抑える方針を固めたい。また、この補助は年末まで続ける予定らしい。いずれにしても安定した価格でのガソリン販売を望むものである。
		スポーツ	スポーツ競技が多様化してきている中で、組合員の主たる営業品目はやはり野球である。連日大谷選手の活躍、甲子園での高校野球のフィーバーによる売上の上昇に関しては、ありがたい話である。そしてそこに陸上の世界大会、20年前は全く歯が立たなかった種目にも頑張る選手がでてきて、これまた営業品目に組み入れている組合員にとっては、ありがたい話である。
	商店街	熊野市	この地方最大のイベント熊野火花大会が再延期の末、開催された。やはり延期の影響は大きく、従来の3分の1程度の集客しかなく、4年ぶりの開催という事で集客を見込んでいた業者等にとっては相当の痛手となった。ただ、同商店街内で開催した物産展はそれなりの集客があり、なんとかそれなりの売上につながっていたようだ。
	サービス業	旅館	夏の催しも復活していたが、海水浴の賑わいは例年より低調のようで、宿泊予約も盆の週は満館の日が多かったが、他の日も夏の予約は間隙が多いので、前年を上回る売上を期待していたが、台風7号の襲来により吹っ飛んでしまった。売上は対前年比の90%、2019年8月比は80%程度であった。
		警備	例年通り受注も増加してきたが、夏期休暇のため、売上は例年並みとなった。
	建設業	総合工事業	収益は減少傾向が続く見通しである。先日、建通新聞より公共調達参加企業に義務付けられている「経営事項審査結果」分析では、経常利益の低下幅が東海三県で最も大きい結果になったとの報道がされた。7月から9月の資材価格については、調達困難は続くものの、価格の上昇傾向は、やや弱まる見通しである。
		内装工事業	8月も対前年同月比で大幅な増加となった。原油高による原材料の高騰を受け、値上げラッシュの様相であるが、業界内で立場的に弱い下請けであるため、価格に反映することが今後の課題である。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和5年8月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
建設業	水道工事業 (亀山市)	亀山市からの業務委託については、漏水修理の件数が若干の減少となっているが、働き方改革の時間外の出勤等、従業員の働き方についてどうするかが課題となっている。水道業界は、サービス業の面もあり、地元企業として亀山市の業務委託以外に一般家庭からの緊急依頼がある。働き方改革への対応が当面の課題となりそうである。
運輸業	トラック	軽油価格は先日に比べ10円近く上昇しており、運賃への価格転嫁が十分にできないことから、経営状態は厳しさを増している。電子・デバイス部門は先月大きく落ち込んだが、今月は増加に転じたことから、関連する輸送も増加した。自動車部門は好調が続いていることから、関連する輸送も順調に伸びている。スーパー小売部門については、先月に続き伸びていることから、関連する輸送も小幅だが伸びている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品 製造業	情報連絡員会議はとても良い企画だと思う。いろいろお話を伺うことができそうで、楽しみである。
食料品	製麺	令和5年度取引力強化推進事業の補助金事業にあたり、通知書をいただき、ありがとうございました。
一般機器	四日市市	工業製品の需要の停滞は2023年内は続く見込み、物価や光熱費さらに人件費の増大も見込まれる。今後の状況を注視しながら、きめ細やかな支援をお願いしたい。
サービス業	旅館	春休み以降は三重県の稼働率が全国平均より下回っていることから、9月以降の予約は状況も回復が遅れているので、県独自の需要喚起策を早急にも実施してもらいたい。(他県では奈良県をはじめ、23県で宿泊割引が9月以降も継続している。)